

▶▶ 今月の主な記事

府職員互助会
夏季合同展示会
2

岡田教授講演
「官公需適格組合」
3

わくわくする
住まいをトーク
4

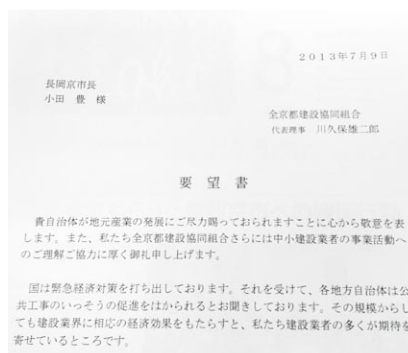
国土強靱化政策
とアベノミクス
4

投稿 社会起業
最終回
5

自治体との共同を志向して陳情行動

協同組合は、府内各自治体への陳情活動を始めました。最初は長岡京市で、7月9日に行ないました。協同組合から川久保雄二郎理事長、福島弘副理事長、池田光繁専務理事らが参加。市側から戸田雄一郎副市長と佐々谷明光建設交通部長に対応していただきました。

「公共工事を発注する際に、地元中小企業が受注しやすいように、できる限り分離分割発注を心がけてください。そして、地元中小企業者の育成を重点施策としてください」という陳情内容です。これに対し、戸田副市長からは「地元企業優先で発注したいと常々思っています。しかし、技術力や実績の面で大企業と差があるのは否めません。公共事業の目的は、あくまで質の良い建物を建てることであり、建物の質を落とすわけにはいかないのです」「行政の役割とは、地元企業に力をつけていただけるかを考えることです。力とは技術力や経営力です。大企業ばかりに事業を発注しては、い



要望書



戸田副市長(左)と川久保理事長(右)

つまでたっても地元中小企業に力がついてきません」「そういった状況のなかに、協同組合のような組織が活躍する場があると思います。中小企業が力を寄せ合って高めあえるように、行政としても協同組合のような組織と力を合わせていきたいと思っています」「なぜ、地元企業を活かすか。ここが問題です。地元企業は地域に根付き、地域の生活や景観、環境を守っていく役割があります。大企業にはそれがなく利益一辺倒となりがちです」「長岡京市、

ひいては京都という土地の未来を守る責任が行政にはあり、中小企業を活かし、地域を活性化させるためにあらゆる施策を行っていきます」などのお話がありました。

公共調達についての戸田副市長のお話は、自治体と共同しようとする組合の方向性とも合致し、有意義なものになりました。長岡京市につづき、今後10自治体に陳情を行って行く予定です。組合員企業の皆さんもぜひご参加をお願いします。(西村 学)

何でも コール

組合へのご意見・ご要望・苦情… どんなことでもお気軽に！

協同組合では、組合員とのコミュニケーションを円滑にし、組合員のための組合をめざすため「何でもコール」体制をつくりました。まずは担当、福本まで。



(建ちゃんのいとこ)

Tel.075-382-1021 Fax.075-394-3201

石田谷遺跡で現地説明会 文化財

石田谷遺跡(第3次)現地説明会が7月6日、与謝野郡与謝野町字弓木で行われました。野田川左岸の丘陵裾部に位置する発掘現場は、天橋立が一望できる高台にあります。総合事業部では、鳥取豊岡宮津自動車道(野田川大宮道路)の新設工事に伴うこの発掘調査に平成24年度から携わっています。

今回の調査では、弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての竪穴建物1基、奈良時代後半から平安時代前半の柱穴群・溝・土器などが見つかりました。また、弥生時代後期の竪穴建物内からは鉄器(ヤリガンナ)も出土しました。鉄器(ヤリガンナ)の出土は、この遺跡を含め京都府内で5遺跡しか知られていません。弥生時代後期から古墳時代初頭の遺跡としては、与謝野町



男山所在の大風呂南古墳墓群の東方にある千原遺跡が知られていますが、遺構の詳しい様子は明らかになっていません。丹後では同じ時期の集落遺跡が68カ所ありますが、竪穴建物を検出

できた遺跡は10カ所程度しかありません。今回の竪穴建物の発見や土器の出土は、この時期の集落遺跡での生活を知る上で貴重な資料であると言えます。(長岡永剛)

府職員互助会指定店会「夏季合同展示会」 建設工事事業部

京都府職員互助会指定店会の「夏季合同展示会」が6月27日・28日、京都府庁福利厚生センターで開催されました。出店企業は、家電・バイク・畳・内装・仏壇・紳士服・メガネ・建設…と多種多様。時代の変化により指定店企業も減少しており、建設協同組合も同じ悩みを抱えています。かつて昭和の時代は出店企業が50社を超えてい

たようですが、今回は指定店企業18社による合同展示会です。

組合の今回の展示テーマは、「健康で長生き」。結の家の展示パネルをはじめ、(株)日本トリムさんにご協力いただき、整水器の実演販売を行いました。当日は数人の府職員様からご興味を示していただきました。

寝室などに置ける介護に便利なポー

ダブルトイレも展示し、いろいろなことができる組合であることをアピールしました。増改築の相談もあり、今後の受注に結びつけたいと思います。

最後に、ご協力いただいた組合員はじめ協賛企業の皆様、ありがとうございました。次回は11月末の開催予定です。(城戸猛志)

協同組合勉強会メンバーが懇親会

7月3日、京都府電気工事工業協同組合との勉強会メンバーが、京都駅前のアサヒピアホールで懇親会を行いました。今後より一層勉強の内容を共有化し、深く掘り下げていくためにも、両組合のことや日常のことなど、距離感を縮める必要があると考え、今回の懇親会開催となったものです。

懇親会には京都大学大学院の2人の先生も交え24人が参加しました。今まで聞けなかった両組合の活動の違いについて、お互いがそれぞれの組合の

行事に参加し合うことなどにも言及。新たな方向性が見える話が飛び交いました。

もちろん、勉強の内容についても意見交流しました。楽しく大変貴重な時間を共有できたと感じています。これから、レポートの発表が続きます。

両組合がより発展するために何をなすべきか、地域の発展に組合がいかに貢献できるのか、現代、未来における組合の存在価値とは…より深く追求していきます。(池田光繁)



懇親会会場

意欲的な発言飛び交う第1回支部長会議

6月20日午後7時から、2013年度第1回支部長会議が京都工業会館で行われました。年度初めの会議ということもあり、副支部長を交えて支部長6人、副支部長4人の参加で開催。支部役員2年間の任期の後半戦に突入したということで、まずは今年度の支部活動の抱負を各人が語りました。「他支部との交流を深める」「今までにない

取り組みを行う」「役員会にどんどん新しい人を連れてくる」など意欲的な発言が飛び交い、これからの支部活動が楽しみになる内容でした。

2代目や若い組合員さんにも組合の魅力に気づいてもらうために、「まず、参加してもらえ」企画を周知することなど、支部役員との認識を一つにできた会議でした。(西村 学)



理事会と懇親会で熱い議論

6月定例理事会は、京都産業会館KPC第3会議室で開催。事業委員会中心の構成でしたが、理事会終了後、地下「銀座ライオン」に会場を移し、新

理事も含めた懇親会が行われました。新体制の下、事業委員会では、各事業活動と組織活動を活性化させる議論が、理事会では、支部長と理事の役割

について熱い議論が展開されました。懇親会でも密度の濃い議論がされ、組合活動を前進させるエネルギーに満ち溢れていました。(西村 学)

岡田教授講演会 (参加された光本副理事長の感想です)

7月4日、官公需適格組合協議会主催の講演会に組合関係者約100人、行政関係者約50人が参加。主催者、特に中央会の職員の努力もあってのことですが、岡田智弘先生(京都大学大学院教授・公共政策)の魅力と桁違いの求心力の証でもあります。

研究者の立場から見た現状・課題・可能性について岡田先生は、東日本大震災から地元中小業者の特性を生かした地域貢献で注目を浴びる浦安建設協同組合、環境を重視した提案型事業を展開する協同組合横浜設備設計など、仕事を要求するだけの組織から脱皮して、持てる力を柔軟に発揮することで

仕事が自然と集まってくる仕組みを手に入れている事例、新たな可能性を見出している先進的組合の取り組みが紹介されました。

参加者の心に最も深く刻まれたのは「京都宣言地域内再投資」ではなかったかと思えます。組合の今後の方向は地域視点、住民視点でという提言は理解しやすく、参加者誰もがすんなり受け入れたと感じました。

「中小企業振興課の方が、今後の方向性が見えた」と話されていた。それを聞いて、これから何かが始まる予感があった—講演会後の懇親会で、測量協同組合の方が話されました。そんなやり



熱弁ふるう岡田教授

とりを聞くと嬉しくなってきます。岡田先生は最後に「皆さんの熱気に突き動かされて、ここまで来ました」と締めくくられました。

(光本瓦店(有) 光本大助)

住まいを 
建てる **なおす** トーク

時間 毎回 午後7時～8時45分
会場 KPC 第3会議室(京都産業会館2F)
問合せ 全京都建設協同組合
Tel.075-382-1021
担当 山本、西村

今後の予定

8月28日(水) 第17回 お店・住まいのリフォーム

講師：小出純子(J's ATELIER)

9月25日(水) 第18回 マンションリフォーム—心地よい木のすまいへの改修

講師：安福 武(安福建築事務所)

「わくわくするけんちく」住まいをトーク

6月26日(水)、京都産業会館で開催された「住まいを『建てる』『なおす』トーク」も今回が第15回。座学に戻り、樋口浩之さん(一級建築士・園部在住)を講師に招き、「わくわくするけんちく」のテーマでお話いただきました。

家を建てるということは、建築主と建築士が設計図の図面を介してコミュ

ニケーションをとり、建築主が「本当に求める家」を「わくわく」しながら探して・見つけていくこと。

建築主が自ら壁を塗った事例を紹介し、自分が家に求める本当の要求に気づくワークショップを行うなど、「家づくりの楽しさ」に参加者が気づける素晴らしい講座でした。(西村 学)



わくわくお話しする樋口氏

組合員から必要とされる組合に—中央会総会記念講演会

6月27日、京都府中小企業団体中央会の総会で、恒例の記念講演会が行われました。「組合員から必要とされる組合になりたい」をテーマに、舞鶴かまぼこ協同組合参事の辻義雄氏のお話を聞きました。

同じ中央会の仲間ですが、まったく業種が異なる組合の方の話の中に、当組合が抱えているのと同じような悩み・課題を克服し、前進されている事例は大変興味深く、感じ入ることが多くありました。

共同購入だけにこだわった時期、ど

んどん業績は悪化していったこと。全国を回り、組合員さんの商品を紹介し販売する中で、舞鶴かまぼこのブランド力を見出し、さらに強いものに構築していったこと。組合員さんの役に立ちながら組合の危機を乗り越えてきたお話など、沢山の勇気をもらいました。

この秋、皆で舞鶴まで行き、工場を見学し、かまぼこ作りも体験し、そしてより深いお話を聞かせていただくことを企画中です。異業種の中に私たちの進むべきヒントが隠されていることを感じた講演会でした。より沢山のヒン

トを事務局皆で見つけてきたいと考えています。(池田光繁)

某職員の自転車考

クロスバイク 3万円~10万円以上とさまざまな価格帯がありますが、安物は壊れやすくパーツのグレードも劣悪です。高い物はメンテナンスと防犯に気を遣わねばなりませんし、個人的には5万円~6万円の物を買ってちょっとずつカスタムしていくのが一番、未永く付き合えると思います。

(9ページに続く)



国土強靱化政策とアベノミクス

先日、内閣府参与(京都大学大学院教授)による「国土強靱化政策とアベノミクス」のお話を聞く機会がありました。

アベノミクスとは、デフレを脱却するために、お金を沢山作り出す「金融緩和」(一本目の矢)と、できたお金を実体経済へ注入する「公共投資」(二本目の矢)、そして実態経済を活性化させ、お金を広く国民に行き渡らせる「行政改革」(三本目の矢)のことです。

デフレとは、実体経済で「お金が循環しない状態」を指します。政府はまず、「国土強靱化政策」と併せた大型公共事業でもって実体経済を活性化させようという第一、第二の矢を実施し、株価上昇などの効果が出ています。

しかし現在のデフレは、バブル崩壊後の行政改革(規制緩和と消費税増税)によって引き起こされ、バブル崩壊そのものが原因ではありません。行き過ぎた規制緩和は、大企業が実体経済から資金を内部留保として吸い上げ、金融市場を肥大化させ、大企業のみを元気にし、国民を

貧乏にさせる政策だと指摘されています。

そのことを踏まえ、200兆円におよぶ大企業の内部留保や膨れ上がった金融市場(虚構)のお金を実体経済へ引き戻すための行政改革(三本目の矢)の具体化こそが最も重要です。なので、「集中」ではなく、「分散」したインフラ整備、新幹線の全国ネットワーク整備などで、太平洋側に偏ってきた公共投資を日本海側へ行き、東京一極集中ではなく、国全体の地域経済を活性化させることこそ国土強靱化に繋がる、と締めくくられました。(M・N)

※国土強靱化政策：南海トラフ地震のように、完全な防災が不可能な災害に対しても国の機能が完全に麻痺することを回避する政策。例えるなら「柳のような国づくり」。具体的には新幹線や高速道路、橋梁のバイパス(複数化)や国の統治機構の分散化によって、東京が機能停止したとしても日本の統治が麻痺しない国土を目指しています。

ねんきん・保険セミナーで見直す自身の年金

7月10日、京都産業会館KPC第一会議室で、「ねんきん・保険セミナー」を開催。酒井昭彦氏(株式会社あんしんエージェンシー京都支店長)が、年金の基礎から丁寧に説明されました。

オレンジ色と青色の封筒で意味合いが異なる「ねんきん定期便」の見方、年金の成り立ち、将来の年金受給額の計算などを詳細に解説。年金と縁のな

い日本人はいません。誰もが聴いておくべきセミナーだと思いました。

若者の保険金未納が増えていますが、「年金制度は将来も崩壊せずに維持されるのか？」の質問に酒井氏は「年金制度が崩壊する時は日本が崩壊する時なので、保険金をしっかり納めておいて損はありません」と返答。講義後には個別相談の時間が設けられ、参加

者からはマニアックともいえる質疑が多く出されました。

現在、「ねんきんネット」というインターネットのサービスも整備され、保険金納付状況などが確認できる体制も整えられているそうです。この機会に一度、ご自身の年金を見直されてはいかがでしょうか。(西村 学)

洛南3支部ボウリング大会に100人以上

洛南3支部ボウリング大会も、今年で24年目。6月26日、KYO-ICHI BOWL 宇治で開催されました。22チーム88人の選手と応援含め100人以上が参加。マイボール・マイシューズ持参で午後から仕事を休んで練習す

るといふ真剣勝負のチーム、お子さんと一緒に家族で楽しむチーム、従業員さんの福利厚生場として利用するチームなど多彩な構成。団体優勝は宇治支部、準優勝は洛南支部、3位に久御山支部。今年も多数の組合員さんと

仕入先の方々の協賛・協力で選手全員が賞品を手にすることができ感謝。満面の笑み湛えて賞品を抱える姿に、皆さんそれぞれに楽しんでいただけた大会だったのではないのでしょうか。

(馬場志保子)

こちら京都ラジオカフェ 『建ちゃん・協ちゃんのまちづくりラジオ』

パーソナリティー：松野晴美、光本大助

京都の屋根を支える小さな会社

(株)ストロベリーセブン 橋爪 均さん (6月8日放送)

板金請負業なのですが、可愛い社名からはとてもは想像できません。7つの会社をつくるつもりで「セブン」と名付けました。小さな会社ですが、何屋さん?と聞かれたり、なんとなく覚えてもらえそうです。板金の仕事で充分なので、欲もなくサボりたいくらいです(笑)。この仕事を始めたきっかけは、アルバイトで行った板金屋さんで、たった2日間

でこの仕事が気に入ったからです。いろいろな現場に行くことができ、しかも扱うものが多く、毎回違うことができ飽きないのが性格とマッチ。なかなか覚えられないと言って多くの人が去っていきな、真逆でした。ノルウェーを研究するグループに入ったり、地元のまちづくりに尽したりしながらも、半分は趣味になってしまったくらいの板金業を楽しみ、年齢を重ねるごとに素早くなった手先で、京都の屋根を支えています。



三菱重工製104kw
2012年3月施工



滋賀県 水口工業団地
Y製作所様

太陽光発電施工実績13年
各メーカー販売から施工まで行います

パナソニック・シャープ・ホンダソルテック
京セラ・三菱・ソーラーフロンティア・三菱重工

株式会社 近藤電業社

お問合せ 075-933-6229

〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町336-19

技術継承と昔ながらの住宅建設

辻本建設(株) 辻本秀一さん
(6月15日放送)

高校卒業後、父の代から引継いで50年以上になります。主に一般の住宅建設を手がけています。先代から引継いだ頃は、大工が看板板で「木だし」をし、みので削って「ほぞ」を作り、骨組みをし、「下地竹」にあら壁を塗り、中塗りをして、上塗りをして…日本の気候、風土に合った家作りをしていました。建物の化粧的

な面でも、釘ではなく「込め栓」という木で作られた物を使いました。今は、やり方もすっかり様変わりして、安全上金具も使います。それはそれで良いと思っています。寺社仏閣は、今も昔の方法で建てられますが、ごく限られた人しかやりません。技術の継承が難しくなりました。技術を継承するためには、一般の住宅でも、少し昔に返ることが望ましいと思っています。



人生をかけてもいいと思える仕事がある幸せ

寺岡瓦店 寺岡昌三さん
(6月22日放送)

昨年末に引き続きの再登場。元々「瓦」の仕事は嫌いでしたが、思い切って行った米国で、偶然「本願寺別院」の瓦を見て大きなショックを受けます。歴史の浅い国の米国人から「貴方の国には、文化も歴史もある」と言われ感銘を受けました。帰国後、以前働いていた瓦店の同僚と再会し、アルバイトとして復職。出向先で、米国で見た本願寺の瓦を賣いた職人さんと偶然出会い、「一生やってもいい仕事かもしれない」と考えました。そうするとモ

チベーションが上がり、仕事への考え方も取り組み方も変わってきて、「汚い、しんどい、危険」な仕事も楽しめるようになりました。そして計画も立ち、自分の人生もつくっていけるし、世間からも認められるし、自分のブランドを作り上げることにつながることに、やっと気が付きました。今は「人生をかけてもいい仕事」になり、生きがいです。今まで出会った人たちに感謝しています。特に若い人には、伝統や文化に携わることに飛び込んでほしいし、そのことによって、日本も「活性化」していくのではないのでしょうか。



早く独立して自分の腕を試したい

(有)土野塗装 土野耕作さん
(6月29日放送)

16歳とき、友人の誘いで働いたのが縁で塗装の仕事を始めました。元々、物を作ったり、色を塗ったりするのが好きで、父も色の関係の仕事をしていたこともあり、興味はありました。7年間修行し、23歳で独立しました。若かったので独立の動機は特別なものではありませんが、早く自分の腕を試したいという思いを強くもっていました。「塗装」とは色を塗り直

すことであり、見栄えよく綺麗にすることができます。新品にはできなくても、再生が可能なため、仕事が無くなるということもないのでは?とも考えました。趣味はDIY(日曜大工)です。ただし塗装以外です(笑)。見栄え的にどうしても色をつけなければならないときは、カッティングシートを使います。家の棚やウッドデッキも作ります。道具の使い方は、現場で顔を合わせる専門家である大工さんに教えてもらっています。(福本多香子)



@ DJ的IT講座(29)

「ビッグデータ(ビジネス)」

「ビッグデータ」という言葉。本来、情報技術分野の用語で、通常データベース管理ツールでは扱いきれないほど巨大なデータの集まりのことを言います。

これが最近急に注目をあびているのは、安倍首相の成長戦略第3弾で「『ビッグデータ』ビジネス普及ヘガイドラインを作成する」と語られたからです。

総務省によれば、ビッグデータは「事業に役立つ知見を

導出するためのデータ」で、ビッグデータビジネスは「ビッグデータを用いて社会・経済の問題解決や、業務の付加価値向上を行う事業」と述べています。

インターネットに蓄えられた膨大な情報・知識を取り出すデータ解析技術は「データマイニング」と言いますが、それをビジネス化することを「ビッグデータ(ビジネス)」と言っているようです。

メディア・コンサルタント 福井 文雄

(fukui@djlabo.jp / 株式会社DJ代表取締役社長)

組合員事業紹介

企業名 オリーブ・モア

所在地 〒616-8222 京都市右京区
常盤仲之町3-6

代表者 九鬼 直子

設立年 平成15年

事業内容 ガーデンデザイン、造園工
事業、カラーセラピー

《代表者の自己紹介》右京支部の九鬼直子です。初めてこの業界に入ったのは昭和62年。京建労の会員でもある右京区の戸建て不動産仲介業者から始めました。その後は京都市内で分譲マンション仲介業・学生マンションの斡旋業・設計事務所などの会社に勤め、平成8年に滋賀へ引っ越し、ハウスメーカーの下請けで営業や監督見習

い、住宅リフォーム業・個人の職人さんとの造園業立ち上げなどを経て平成15年、「人として、仕事として、あたりまえのことをもっと大切にできれば…」と思い、造園業としてオリーブ・モアを始めました。現在は“癒し”をコンセプトに、個人のお客様へガーデンデザインから施工まで提供しています。お店は滋賀県の栗東市にありますが、昨年は京建労に、今年からは全京都建設協同組合にも加入させていただき、最初にこの業界へ入ったときと同じ右京へ戻ってまいりました。そんな26年間でふりかえって…。

《組合に一言》お客様、メーカーさん、問屋さん、職人さん、設計の方、そし

て経営者さん、社員さん…仕事を通じていろんな立場の方というお話をしてきた中で、これからはこんな仕事ができればいいなあ～と思っています。「みんな笑顔に！ ところ輝くまちづくり！」。ひとりでできることは限られていますが、同じビジョンを持った人たちが集まるからできることってありますよね。この組合も、もとは京建労とひとつだったんです。60年前に経営者と労働者に分かれた先の全京都建設協同組合のみなさまにも“本当の癒し”が伝わることを祈っています。



法律Q&A 借地借家と正当事由

Q 息子はマンションを2年契約で締結し、更新して丸4年になります。家主は「このマンションは耐震構造になっていないし、老朽化しているので建て替える。今年の8月末には期限になるので、次回は更新しないし、明け渡すのは当然」と言っています。今年の8月末に明け渡さなければなりませんか。

A 結論から言いますと、耐震構造になっていないというだけでは、基本的に明け渡す必要はありませんから、明け渡しには応じられないと答えましょう。

アパート・マンションでも「借家」であり、借地借家法の適用があります。従って、法律上の要件を備えた「定期

借家契約でなければ、期限が来ても当然に出て行く義務はありません。息子さんの場合、1回更新をしている点から、「定期」借家契約ではありません。従って、更新拒絶されても、家賃を支払って住み続けていれば、契約は自動的に継続され（法定更新）、適法に住み続けることができます。

但し、裁判で明渡請求に「正当事由」があるとされ敗訴すれば、明け渡さなければならない可能性もあります。この「正当事由」とは、貸主・借主双方の建物の使用を必要とする事情のほか、従前の経過、建物の利用状況、建物の現況並びにいわゆる立退料などを考慮して裁判所が判断することになっていますが、原則として「正当事由」は、家主側の自己使用の必要性と借主の自

己使用の必要性を中心に比較して判断され、家主には、借主の住む必要性をはるかに越える強い理由が要求されます。あなたの場合に家主に正当事由があるか疑問であり、8月末に当然には、明け渡す必要はありません。但し事件によっては、単純ではありませんが、まずは明渡を拒否し、直ちに弁護士に相談するのがよいでしょう。

（ 京都第一法律事務所 ）
弁護士 岩橋多恵

無料法律相談（お一人30分）

毎月第1水曜日

洛西本部事務所で開催

13:30～16:00

【問合せ】Tel.075-382-1021

公契約条例とは(17)

今号は、「野田市公契約条例」連載の最終回です。また、長くお読みいただいた「社会起業シリーズ」も今回で終了します。ご愛読ありがとうございました。

さて、「野田市公契約条例」についての率直な感想で結びとします。

第一に、この条例制定の背景に「まちづくり」「ひとづくり」についての強い明確な意志を感じました。社会的な公正をつらぬくことで「住みやすい地域とは何か」を徹底して追求する条例だと思えます。ぜひ、もういちど条例と「手引き」を通読してみてください。

条例を読めば、「地元自治体の発注なのだから、地元業者優先」というような考えが全くないことにまず気づきます。多くの「地元業者優先・地元業者限定」という自治体条例は、資金力ある企業がその自治体に支店を置くことで有名無実化させられてきました。また「本社が地元の企業に限る」としたとしても、地元企業が受注し地域外

のゼネコンが実質的に仕切るということもできます。逆に、地域外の手ゼネコンが契約した場合でも、職別工事は実力ある地元の中事業者が請け負う場合も少なからずあり、問題は契約者が地元か地元外かということより、その工事の現場で実際に働くものが、透明で公正な労賃を得ることで、地域の発展に直接的・間接的に寄与するというのではないのでしょうか。

公共工事を地元企業が直接請け負うかどうかにかかわらず、自治体発注の工事で実際に仕事をする職人や労働者が公正な労賃を受け取ることで、工事の品質が担保され、まちづくり、職人づくり、住みやすい地域づくりにつながると思います。

第二に、「厳しい下請受注額と職人の高い労賃の間で困るのは我々経営者だ」という懸念も全く当たらないと思えます。まず「高い労賃が条例で保証される」事実はありません。透明で公正な労賃を規定し、元請から下請まで「連帯責任」を負うことで最低労賃を担保しているだけです。最低入札価

格を決めて労賃低下を防ごうとしても、重層的な請負構造の中で、下請金額と労賃の低下に歯止めはかかりませんでした。労賃の透明性と公正性、及び請負業者間の連帯責任で、現場職人や労働者の最低賃金が確保されます。

「公契約条例」は、他の法律や条例がそうであるように「これさえあれば」というものではありません。発案者の強い意志と制定までの論戦の過程、運用上での当事者意識と責任性、変化に対するたゆみない改訂等を通じてはじめて有効に機能します。

この条例は、公契約に係る業務に従事する労働者の適正な労働条件を確保することにより、当該業務の質の確保及び公契約の社会的な価値の向上を図り、もって市民が豊かで安心して暮らすことのできる地域社会を実現することを目的とする。(条例第一条・目的) 公契約条例の先例を虚心坦懐に学び、全国にその精神を広げていきたいと思えます。

【環境マネジメントコンサルタント 杉原卓治】

労基連の技能講習

●安全管理者選任時研修

日程：8月1日(木)、2日(金)

会場：京都府中小企業会館

受講料：14,700円、

テキスト代1,470円

●プレス機械作業主任者

日程：8月6日(火)、7日(水)

会場：京都府中小企業会館

受講料：8,400円

テキスト代1,470円

●有機溶剤作業主任者

日程：8月22日(木)、23日(金)

会場：京都府中小企業会館

受講料：8,400円

テキスト代1,680円

●ガス溶接

日程：[学科] 8月22日(木)

[実技] 1班24日(土) 2班25日(日)

会場：[学科] 京都府中小企業会館

[実技] 京都職業能力開発促進センター

受講料：9,975円

テキスト代840円

●酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者

日程：8月26日(月)～28日(水)

洛王セレモニー(株)

本社 南区久世高田町 35-3 全京都建設協同組合指定店

24時間年中無休 ☎ 0120-30-8343

ご遺族の心になってご奉仕! ☆ご葬儀祭壇料金より20%割引(155,400円の規格もご用意しております)

■東山会館(東山区)

■想苑(東山区)

■セレモニーホールふかくさ(伏見区)

■セレモニーホール伏見桃山(伏見区)

■セレモニーホール山科御陵(山科区)

■セレモニーホール桂(南区)

■セレモニーホールらくさい(西京区)

■セレモニーホール長岡京(長岡京市)

■セレモニーホール宇治(宇治市)

■城陽会館(城陽市)

■セレモニーホール亀岡(亀岡市)

■びわこ大橋会館(大津市)

■セレモニーホールおごと(大津市)

■セレモニーホールさかもと(大津市)

■セレモニーホール高槻(高槻市)

会場：京都府中小企業会館

受講料：15,750円

テキスト代3,150円

●リスクアセスメント実務研修

日程：8月29日(木)

会場：京都府中小企業会館

受講料：9,450円

テキスト代1,470円

●フォークリフト運転

日程：[学科] 9月2日(月)、3日(火)

[実技] 1班：4日(水)～6日(金)

2班：10日(火)～12日(木)

会場：[学科] 京都府中小企業会館

[実技]ニチユ三菱フォークリフト(株)

実技講習会場

受講料：29,925円

テキスト代1,575円

●衛生管理者能力向上教育(基礎研修Ⅰ)

日程：9月10日(火)、11日(水)

会場：京都府中小企業会館

受講料：14,700円

テキスト代2,415円

●特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者

日程：9月12日(木)、13日(金)

会場：京都府中小企業会館

受講料：8,400円

テキスト代1,680円

●鉛作業主任者

日程：9月24日(火)、25日(水)

会場：京都府中小企業会館

受講料：8,400円

テキスト代1,680円

●有機溶剤作業主任者

日程：9月26日(木)、27日(金)

会場：京都府中小企業会館

受講料：8,400円

テキスト代1,680円

【問合せ・申込み】

(社)京都労働基準連合会

Tel.075-321-2731

※連合会のホームページ

<http://www.kyoukiren.or.jp>

※受講申込者が少人数の場合は中止になることがありますのでご了承ください。

建災防の各種講習

●石綿作業従事者特別教育

日程：8月6日(火)

会場：京都建設会館別館

受講料：6,000円

●建築物等の鉄骨組立て等作業主任者

日程：8月8日(木)、9日(金)

会場：京都建設会館別館

受講料：10,800円

●玉掛け

日程：8月22日(木)、23日(金)、25日(土)

会場：京都建設会館別館

受講料：19,600円

●足場の組立等作業主任者

日程：8月27日(火)、28日(水)

会場：京都建設会館別館

受講料：10,600円

●丸のご等取扱い作業従事者教育

日程：9月3日(火)

会場：京都建設会館別館

受講料：6,000円

●地山及び土止め作業主任者

日程：9月10日(火)～12日(木)

会場：京都建設会館別館

受講料：17,500円

●高所作業車技能講習(作業床の高さが10m以上)

日程：9月18日(水)、19日(木)

会場：京都建設会館別館

受講料：36,800円

●高所作業車運転特別教育(作業床の高さが10m未満)

日程：9月20日(金)

会場：(株)スカイワーク京都(伏見)

受講料：13,300円

【問合せ・申込み】

建設業労働災害防止協会京都府支部

〒604-0944 京都市中京区押小路

通柳馬場東入 京都建設会館別館内

Tel.075-231-6587

Fax.075-251-0058

受付時間：午前9時～午後5時

※ホームページから講習予定、申込書が取り出せます。

<http://homepage2.nifty.com/KYO-KENSAI/>

(4ページから続き)

⊗ 某職員の自転車考

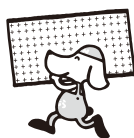
基本的にカスタマイズ性が高い自転車が多く、自分好みにカスタムできます。雨の日にも乗る人は泥除け(フェンダー)を付けたり、荷物を運びたい人は荷台(キャリア)を取り付けたり。乗り手のパーツ選びのセンスや何のために使うかという想像力が最も問われる自転車といえます。

自分の欲しいクロスバイクが、ロード寄りかMTB寄りか、サイクルリング用か普段乗り用か、一度じっくり悩んでみると自転車への愛着も増すと思います。

畳・ふすま・インテリア

室内装飾仕上

クロス、表装、床施工、ダイノックシート
ガラスフィルム、障子張り、カーテン
ブラインド、キッチンパネル施工



株式
会社

にしむら

京都府知事認可
(般-14) 4728号

京都市右京区太秦安井松本町22 (三条通り天神川東入ル)

TEL 075 841-4400 FAX 075 811-0339

<http://www.homeservice.co.jp/>

土木・建築・製作金物 設計・施工

製作金物の構造計算から作図・設計・施工までいたします。

ステンレス製作金物なら実績ある当社へ御用命ください。

株式会社 三田

京都府久世郡久御山町野村東147-2
TEL (075) 631-7833 FAX (075) 631-7857

<http://www.mita036.com>

mita036

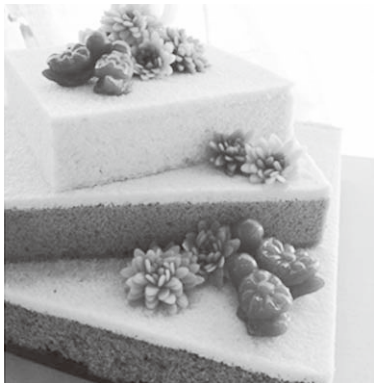
検索

連載 ステキ韓国、好き好きソウル!!

第14話 餅 (トッ・岫)

韓国の祭祀(チュサ)や茶礼(チャレ)、各祝い事には、「餅」が欠かせません。韓国人は本当にお餅が大好きなのだと思えるほどです。日本でも餅米を蒸して杵でついて、丸にしたり角にしたりして醤油をつけたりきな粉にまぶしたり、東北のずんだ餅のようにしたりと、食し方もさまざまですが、韓国はそれどころではありません。

ソウルで、ある俳優さんとのイベントで配られた軽食の箱の中に、果物やお菓子と共に約7cm角のサイコロ状で、真っ白で、見た目がカステラのようなものがセロファンに包まれて入っていました。持ってみると重さもあります。そこに参加した日本人は誰ひとり見たことがなかったので、これが何なのか、どのようにして食べる物なのか分かりませんでした。一人の友人が試しに食べると、げげんな顔で「味が全然無い!」「えっ?」「何かなあ?」と言いながら、結局正体が分らず、私達日本人だけ



餅ケーキ

躊躇してしまっただけの経験があります。ホテルに戻ってから食べてみましたが、実はほんのり甘く、カステラのようにふわふわではなく、少しモチツツとしたとても不思議なお菓子のような食べ物でした。シンプルで美味しいものでした。帰国してから調べると、うるち米を粉にして蒸した「ペッソルギ・白雪糕・백설기」という「お餅」でした。「シルトッ」ともいわれます。

もっと調べてみると、韓国のお餅の原料はうるち米。そしてこの「蒸し餅・ペッソルギ」が「餅・トッ」の基礎といわれています。「蒸し餅」「つき餅」「焼き餅」「茹で餅」があり、よもぎ・果物・穀類・豆類・干し柿・蜂蜜など、名前を挙げればきりがなほどの食材が使われ、200種類近く「餅」があるようです。その形や色も驚くほどさまざま、美しくいろいろな種類の「お餅」があり驚きました。屋台で買えるものから、予約して作ってもらうものまであり、味も形も食感もまったく違うから、驚きます。韓国食材のお店の通販で、お取り寄せしたことがありますが、期待を裏切らない美味しいお餅でした。代表的なものだけを、いくつかご紹介しますと、気軽に根強い人気は「トッポッキ」。直訳は「餅炒め」。細長い餅を唐辛子味噌や砂糖で炒めたり、炊いたりします。小腹が空いたときには、屋台で買えるのでお手軽です。美味しい! でも旨辛い! お正月には韓国のお雑煮



ペクルソギ

の「トックッ」。餅入りスープのこと。日本と同様に、地方によって具や味も違います。旧盆のチュソクに食べる「ソンプジョン・松葉蒸し餅」は、胡麻や小豆、栗などの餡を入れて半月の形に整え、松葉を敷いて蒸したものです。だから「松餅・ソンプジョン」。一年の収穫に感謝し、先祖にお供えます。チュソクの時だけではなく、普段もお店で売っていますよ。あと一つは「トッケーキ」。主にお祝いの時用。一見普通のケーキのようですが、餅だから驚き! 特注のものは、凝りに凝って、食べるのがもったいないほどです。ではこの辺で。ヨロブン ト マンナヨ!

《韓国ひとくちメモ》祭祀(チュサ)や茶礼(チャレ)は、先祖を供養する法事になります。本来は毎年5世代前まで遡り、年10回も命日を祀りますが、家庭によって違います。特にチュサはすべての子孫が集まり、午前0時を回ってから始まり、その支度は想像以上に大変なので、昨今は回数も減っています。約30%がキリスト教なので、あえてやらない家庭も増えています。時代の流れですね。(福本多香子)

木造住宅の必需品

QTダンパー®
クエイク・テクノ



【耐震】と【制振】で地震に耐える



「QTダンパー」が持つ繰返し建物に加わるエネルギーを吸収する制振性能により、柱と梁の接合部の緩みを抑えて、建物の固有周期が伸びることを防止し、共振による倒壊から建物を守ります。

経営理念

「先端技術で安全と安心を創造する」
わたしたちは
わたしたち石山テクノ建設の補修・補強の保全技術で
暮らしやすい環境を人々に提供できる
このことを最大のよこぎとしていきます



石山テクノ建設株式会社

一級建築士事務所

〒604-8411 京都市中京区聚楽廻南町1番地
TEL (075) 822-4377(代) FAX (075) 803-0417

<http://www.ishiyama-techno.co.jp>

おしゃれな歯科医院の設計…

建築相談会を定期的に設けている京都府歯科保険医協会(林光一理事長)から、歯科医院の建物ファサードの設計見本をつくってほしい、との依頼が協同組合にありました。

歯科業界は患者さんが減少傾向にあるといわれています。患者増に転じるために、おしゃれな建物、とりわけファサードを「来院したくなる」意匠に改装する医院が、昨今増えています。

しかし、「見た目」を重視することに、一步踏み込めない歯医者さんもまだまだ少なくありません。そのため、同協会は会員支援の1つとして医院のファサードの改装を促そうと始めたのです。患者さんにしても、技術の確かさは歯医者さんを選ぶうえで第一ですが、清潔でおしゃれな建物という条件も上位に入ります。ある右京区のおしゃれな歯科医院はいつ行っても患者さんでいっぱいです。
(川久保雄二郎)

6月定例理事会

6月28日(金)午後7時から京都産業会館で理事15人の出席で開催されました。

①各委員会での課題について

②支部活動での「理事と支部長」の位置について

③組合員拡大について

④京都府の「現代の名工」「明日の名工」について

⑤事業の結果と計画について

⑥10自治体への陳情について

⑦支部交流ボウリング大会について

⑧理事会研修について

⑨第1回支部長会議の結果について

⑩セミナーについて

⑪組合Diary

⑫その他

組合日誌

本部

7/3 新しい組合像懇親会

7/4 官公需講演会

7/10 ねんきん・保険セミナー

7/21 ボウリング大会

支部

7/2 JIC(役)

7/3 北山(役)

7/4 桂川(役)

7/10 洛中(役)

7/11 右京(役)

洛西(役)

7/19 新京(役)

編集後記

6月なのに途轍もなく暑い日が続いたり、7月に入って、梅雨が明けたかと思えばゲリラ豪雨が続き…と異常気象が続いており、今年も全国各地で水害が起っています。災害が発生した時に、被災地に一番早く救助の手を差し伸べられるのは地域の近隣住民です。そして、その先頭に立つのは地元の中小建設業者だと思えます。地域住民からは、もしも

の時に助けてくれる存在として期待されていますし、自主防災組織や消防分団へ所属されている組合員の方も沢山おられます。そういった組合員さんを後押しするためにも、協同組合は京都府と防災協定を締結し、毎年の京都府総合防災訓練にも参加しています。今年も9月に宮津で行われる防災訓練に向けての会議を行っています。
(西村 学)

全京都建設協同組合 メールアドレス一覧

川久保理事長 kawakubo@zenkyoto.jp
組 織 部 soshiki@zenkyoto.jp
総 務 部 soumu@zenkyoto.jp
建設工事事業部 koji@zenkyoto.jp
洛 西 本 部 z-raksai@alto.ocn.ne.jp
洛 南 事 務 所 z-raknan@mocha.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.zenkyoto.jp/>

心をつなぐお手伝い

私たちはお客様の事業と運動に貢献する、パートナーでありたいと願っています。

印刷媒体、映像媒体、電子メディアの企画・制作、
イベント企画、DTP指導サービスの提供

 株式会社 きかんしこむ

〒601-8205 京都市南区久世殿城町330-1 TEL.075-935-1115(代) FAX.075-935-5100
E-mail: com@mediapark.co.jp <http://www.mediapark.co.jp>



www.daytora.net



every
thing

株式会社 **DAYTORA**

京阪機材センター

〒618-0091 京都府乙訓郡大山崎町円明寺門田 8

Tel.075-958-4400 Fax.075-958-4700